

広報

西はりま消防 vol.17

相生市・たつの市・宍粟市・太子町・佐用町 3市2町の消防組合

2025. 春号



「ここが危ない」 高齢者の日常にひそむ危険

もくじ

実は多い、住み慣れた住宅内にひそむ危険 … 2～3ページ

令和6(2024)年1～12月 災害出動件数 … 4ページ

西はりま消防組合の人事・財政状況 … 5ページ

感謝状贈呈、危険業務従事者叙勲受章、本部・各署トピックス … 6～7ページ

消防学校初任教育を終えて、消防まめちしき … 8ページ

実は多い、住み慣れた住宅内にひそむ危険

高齢者の事故の特徴

住み慣れた住宅内で、つまずいたり滑ったりして転びそうになったことはありませんか。高齢のかたが転倒や転落によるけがをして救急車で搬送される件数が増加しています。

高齢になると、加齢により筋

力が低下し、すり足気味に歩くようになることで、つまずきやすくなります。

また、転倒や転落をすると、骨折などといった大きなけがを負いやすく、けがが原因で寝たきりや介護が必要になってしまいうこともあり、時には生命にかかわることもあります。

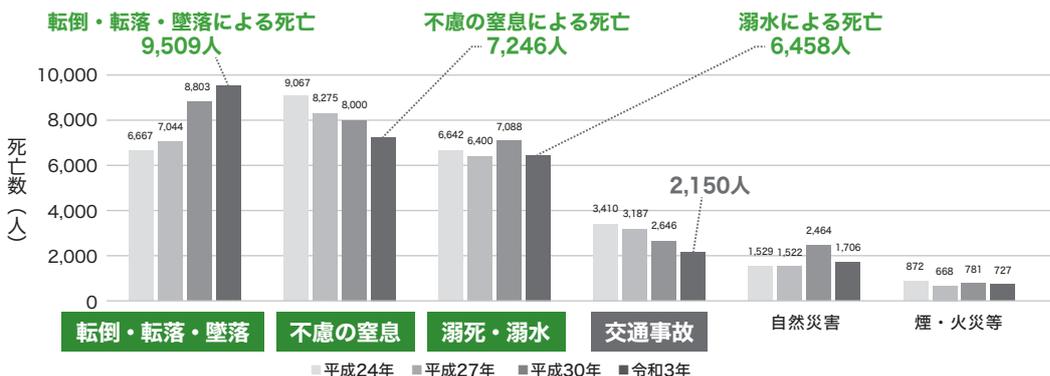
高齢者の事故が増加

消費者庁の調べによると、65歳以上の不慮の事故による死因は、「転倒・転落・墜落」が一番多く、続いて「不慮の窒息」、「溺死・溺水」の順となっています。

これらの死因による死亡数をあわせると、交通事故の死亡数と比べ、約11倍多くなっています。

できることから始めましょう

けがをして救急車で病院へ搬送されたかたの中には、「ほんの少しの注意」や「事前の対策」で未然に防げたかたもいます。日頃からの「心がけ」や「環境づくり」を行い、事故にならないよう、しっかりと対策をしましょう。



65歳以上の不慮の事故による死因別死亡数

人口動態調査（厚生労働省）上巻 死亡 第5.31表をもとに消費者庁において作成・3年ごとの推移
出典：消費者庁ホームページ「無理せず対策高齢者の不慮の事故」より

事故の原因を知って対策をしましょう

高齢者の事故防止ポイント

転倒・転落



玄関・廊下・居室・浴室の注意点

- 手すりをつける。
- 床に物を置かない。
- 足元がよく見えるよう照明を明るくする。
- 階段や浴室などの滑りやすいところに滑り止めをつける。
- 脚立やはしごを使用した作業をしなくてもいいように、日ごろから高いところに物を置かないようにする。作業をするときは、補助者に支えてもらう。

窒息



食事など(餅・肉・薬の包装)の注意点

- ゆっくりとよく噛んでから飲み込む。
- ひと口の量は、無理のない量にする。
- お茶などの水分をとりながら食事する。
- 薬の包装シートは1錠ずつに切り離さない。(誤飲防止)

溺水



入浴・脱衣時の注意点

- 長風呂、高温浴は避ける。
- 飲酒後の入浴はしない。
- 同居者がいる場合は入浴前にひと声かける。一人暮らしの場合は、扉のそばに携帯電話を置いておく。
- 入浴前に脱衣所や浴室を暖め温度差をなくし、ヒートショックを防ぐ。

もしも詰まったら...

背中側から、片手の手のひらの付け根で、両側の肩甲骨の間を数回以上強くたたく。



図：背部叩打法



◀ 応急手当要領
西はりま消防組合
ホームページ



寒い浴室・脱衣所

※住宅の改修や補助具の購入には費用がかかりますが、助成金の支給や補助を受けられる場合があります。
詳しくは、お住まいの自治体にお問い合わせください。

もしものときには救急車を呼びましょう

119番通報をするときは、『あわてず、ゆっくり、はっきりと』指令員に伝えてください。

けがをしたとき、指令員に伝える内容は次のとおり

- ・ 救急車の要請であること
 - ・ 救急車に来てほしい住所
 - ・ けがの症状
 - ・ けがをしたかたの年齢
 - ・ 通報者の名前と連絡先
- (このほか詳しい内容を指令員から確認することがあります。)

【救急車が必要なのか判断に迷った場合の問い合わせ先】

西はりま消防本部

消防指令センター

☎0791-76-7300



令和6(2024)年1~12月 災害出動件数

単位:件、()内は前年の件数

火災

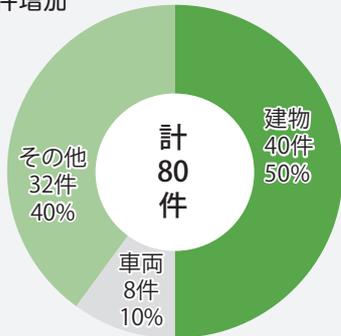
最も多かった出火原因は「野焼き」21件

消防署別	相生	たつの	宍粟	太子	佐用	合計
火災	14 (4)	27 (35)	23 (11)	3 (11)	13 (11)	80 (72)
建物	5	15	11	2	7	40
林野	0	0	0	0	0	0
車両	1	3	2	1	1	8
その他※	8	9	10	0	5	32

※記載以外の種別の件数を計上(救急、救助の表において同じ)

前年比

8件増加



救急

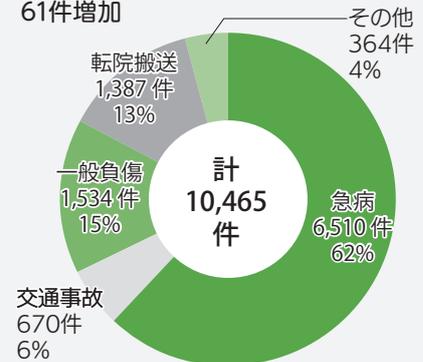
3年連続で過去最多を更新

1日あたり平均約29件出動

消防署別	相生	たつの	宍粟	太子	佐用	合計
救急	1,432 (1,506)	4,235 (4,130)	2,097 (2,077)	1,849 (1,845)	852 (846)	10,465 (10,404)
急病	940	2,569	1,287	1,214	500	6,510
交通事故	103	268	103	164	32	670
一般負傷	183	633	303	295	120	1,534
転院搬送	152	636	331	99	169	1,387
その他※	54	129	73	77	31	364

前年比

61件増加



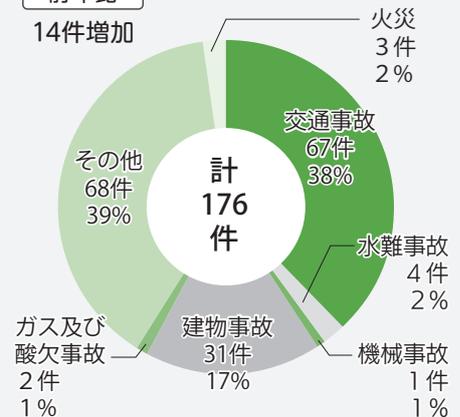
救助

交通事故による出動が16件増加

消防署別	相生	たつの	宍粟	太子	佐用	合計
救助	32 (35)	48 (47)	34 (26)	38 (37)	24 (17)	176 (162)
火災	0	2	1	0	0	3
交通事故	9	14	16	15	13	67
水難事故	1	1	1	0	1	4
機械事故	0	1	0	0	0	1
建物事故	6	12	8	3	2	31
ガス及び酸欠事故	0	0	0	1	1	2
その他※	16	18	8	19	7	68

前年比

14件増加



警戒・検索・その他

消防署別	相生	たつの	宍粟	太子	佐用	合計
警戒・検索・その他	46 (38)	146 (132)	123 (104)	38 (52)	36 (33)	389 (359)

警戒: 火災の疑いがある煙の上昇や災害発生のおそれがある場合の未然防止
 検索: 火災の疑いがある煙の上昇や災害発生のおそれがある場合の状況確認
 その他: ドクターヘリ、防災ヘリの支援など

西はりま消防組合の人事・財政状況

人事の状況

職員数や職員の給与などの実態について、概要をお知らせします（再任用、臨時職員を除く）。

人件費の状況

区分	住民基本台帳人口 (令和5年度末)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率 (B)/(A)
5年度	182,954人	2,736,633千円	77,953千円	2,303,435千円	84.2%

職員給与費の状況

区分	職員数 A	給与費				一人当たり給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計B	
5年度	286人	1,070,735千円	265,943千円	430,386千円	1,767,064千円	6,179千円

(注) 1 職員手当には、退職手当を含みません。
2 職員数は、令和5年4月1日現在の人数です。
3 給与費については、再任用職員（短時間勤務）の給与費を含みますが、職員数には含んでいません。

職員の平均給与月額等の状況（令和6年4月1日）

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
消防職	37.9歳	301,181円	370,552円

(注) 1 「平均給料月額」とは、令和6年4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均です。
2 「平均給与月額」とは、令和6年4月に支給した給料月額と諸手当の合計の平均です。

年齢別職員構成の状況（令和6年4月1日現在）

区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	8人	31人	44人	27人	23人	28人	22人	20人	35人	24人	23人	3人	288人

級別職員数等の状況（令和6年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
7級	消防長	1人	0.4%
6級	次長、署長、副署長、課長	17人	5.9%
5級	副署長、課長、主幹	59人	20.5%
4級	課長補佐、副主幹	38人	13.2%
3級	係長、主査	81人	28.1%
2級	主事	26人	9.0%
1級	主事	66人	22.9%

職員の採用試験の状況（令和5年度実施分）

採用区分	申込者数	受験者数	合格者数	倍率
大卒	17	11	4	2.8倍
短・高卒	17	17	5	3.4倍

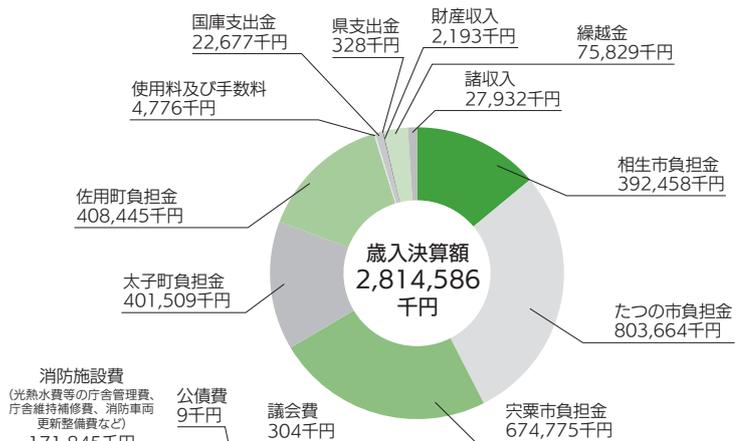
財政の状況

令和5年度決算概要

西はりま消防組合一般会計の決算状況は、歳入総額2,814,586千円、歳出総額が2,736,633千円で、歳入歳出差引額は77,953千円となっています。

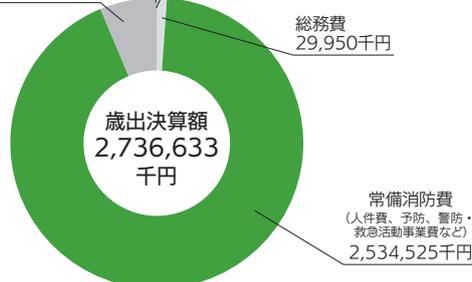
歳入 (単位：千円、%)

科目	令和5年度	
	決算額	構成比
分担金及び負担金	2,680,851	95.2
使用料及び手数料	4,776	0.2
国庫支出金	22,677	0.8
県支出金	328	0
財産収入	2,193	0.1
繰越金	75,829	2.7
諸収入	27,932	1.0
合計	2,814,586	100



歳出 (単位：千円、%)

科目	令和5年度	
	決算額	構成比
議会費	304	0
総務費	29,950	1.1
消防費	2,706,370	98.9
公債費	9	0
合計	2,736,633	100



危険業務従事者叙勲受章



瑞宝双光章

元佐用消防署
署長

ふなびき まなぶ
船引 学 様



瑞宝双光章

元消防本部
警防課長

さかくち ただお
坂口 忠男 様

永年にわたる功績が認められ、危険業務従事者叙勲を受章されました。
おめでとうございます。

消防協力者へ感謝状を贈呈



●功績のあった方

もりかわ みのもる みずもと よしお きぬがさ としひろ はしもと ひろまさ
森川 稔 様 水本 義夫 様 衣笠 俊博 様 橋本 泰昌 様

●事案の概要

令和6年8月26日に佐用町で発生した建物火災において、消防隊到着までの間に消火栓による初期消火を行い、早期鎮火に貢献された功績に対して消防長から感謝状を贈呈しました。

高校生が消防士の仕事を体験

相生消防署 ☎0791-23-7171



高さ7メートルからの降下訓練

10月15日から4日間、消防署で兵庫県立相生産業高等学校の生徒4人が消防士の仕事を体験しました。

生徒たちは、放水訓練や救助訓練のほか、予防査察など普段は経験できない消防業務に熱心に取り組みました。

将来、防火・防災の担い手として活躍してくれることを願っています。

リチウムイオン電池からの出火が増加

消防本部警防課 ☎0791-76-7121



スマートフォンやタブレット、モバイルバッテリーなどに使われているリチウムイオン電池は、落下による衝撃、過度な圧力によって発火するおそれがあります。

管内では、普通ごみとして廃棄されたことにより、ごみ収集車内で出火した事例も発生しています。廃棄の際は、お住まいの自治体のルールに従い処分しましょう。

地域で助け合い、地震に備える
たつの消防署 ☎0791-63-3511



ジャッキを使って負傷者（人形）を救出する生徒たち

10月18日、兵庫県立龍野北高等学校において巨大地震を想定した防災訓練が行われ、生徒や住民約1,000人が参加しました。

この訓練は毎年開催されており、参加者は身近にある工具を使用した救出方法や煙の中での避難方法を体験。参加した生徒からは、「災害が起こったとき、自分たちにできることをしたい」との声が聞かれました。

全国の少年消防クラブが競技を通じて交流
太子消防署 ☎079-276-1191



クラブ対抗障害物競走のようす

9月中旬、神戸市において全国少年消防クラブ交流大会が開催され、たつの・太子少年消防クラブ員5人が参加しました。

全国約39万人の少年消防クラブ員のうち約420人のクラブ員が集い、ホース延長やロープ結びなどの競技を行いました。

あなたも次世代の防災リーダーを目指して、少年消防クラブに加入しませんか。

あらゆる災害に対応するために
宍粟消防署 ☎0790-62-8200



溺れた人を救助ボートに引きあげる訓練

10月上旬、引原ダム（音水湖）で水難救助訓練を行いました。日頃から署訓練場で消火訓練などを行っていますが、今回は、過去に災害が発生したことがあるダムで、現地でしかできない救助ボート操船訓練などを行いました。

水難事故だけでなく、あらゆる災害を想定した訓練を行い、管内住民の皆さまが安心・安全を実感できるまちづくりに努めます。

日ごろの備えが大切
佐用消防署 ☎0790-82-3873



災害時に役立つロープの結び方を教わる参加者

10月20日、三河地域において地震及び水害を想定した防災訓練が行われ、住民80人が参加しました。

いざという時の対処として、AEDや消火器の使いかたを学びました。

参加者からは、「ロープの結びかたは、毎日使っとかんと忘れてしまう」と日ごろの備えに対する声が聞かれました。

/// 新人紹介 ~消防学校初任教育を終えて~ ///



4月から半年間、兵庫県消防学校で消防士として必要な研修や訓練を重ね、知識の習得や体力づくりに励んできました。

10月から管内の各消防署に配属され、先輩職員に教わりながら日々奮闘しています。

消防まめちしき

「春の火災予防運動」

Q 春の火災予防運動って、どんなことをするの？

A 春は、空気が乾燥し、風の強い日が多く、火災が発生すると被害が大きくなる季節なんだ。

だから全国一斉に春の火災予防運動を行って、消防署では火災が起こらないように地域のみんなに火の用心を呼びかけたり、地域のみなと一緒に訓練をしているよ。

みんなのお家でも住宅用火災警報器の点検を行い、火の用心を心がけようね。



期間：3月1日～3月7日

消防車・救急車の要請は、迷わず



局番なしの119 番通報をしてください!

診察可能な病院を知りたいときは…

0791-76-7160 (休日・夜間病院案内) ※自動音声

上記の場合、または救急車が必要なか判断に迷ったときは…

0791-76-7300 (消防指令センター)

災害の情報を知りたいときは…

0791-76-7150 (災害情報案内) ※自動音声

当組合の
ホームページ・SNSはこちら▼



ホームページ



Facebook



Instagram